



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年 2月12日

日本鉄道労働組合連合会

2021 春季生活闘争方針を決定

JR連合は2月2日に開催した第33回中央委員会で、2021春季生活闘争方針を満場一致で決定した。今次闘争は、JR産業を取り巻く現下の危機的状況を踏まえ、「JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守る」ことを最優先に取り組む一方、中期労働ビジョンで設定した必達目標賃金に未達の単組においては、賃金を「働きの価値に見合った」水準へと引き上げるため、純ベア要求を行うこととした。

加えて、当該ビジョンの提言に基づく総合生活改善に取り組むとともに、中央委員会で内外に明らかにした、「今後の社会変容を見据えた働き方に関する第一次提言」に基づく働き方改革にも取り組み、産業の魅力をより高めていくこととしている。

今次闘争は、JR連合を結成して初めてJR各単組とグループ労組の方針を一本化して臨むこととなる。この間の政策活動による成果を基礎に、あらゆる資源・活動を総動員して「ONE TEAM」で取り組み、コロナ禍においても産業の社会的役割を果たし続けている、それぞれの職場で奮闘する仲間、そしてその家族に想いを馳せながら、多くの成果を勝ち取るろう！

なお、2021春季生活闘争の基調と賃上げ要求は以下の通り。

<2021 春季生活闘争の基調>

- ◆ あらゆる資源・活動を総動員し、「ONE TEAM」で春季生活闘争に臨む
- ◆ JR産業の責任産別として、すべての仲間の雇用と生活を守る
- ◆ 中期労働政策ビジョンの提言に基づき、労働諸条件の改善に取り組む
- ◆ 人材の確保・定着にむけて、今後の社会変容を見据えた働き方の改革に取り組む
- ◆ JRグループ内における格差を是正し、安心して働き続けることができる労働環境を実現する

<賃上げ要求>

1. 年度初における定期昇給の完全実施を求める。なお、定期昇給制度が確立されていない単組は、制度の確立と併せ、定期昇給相当分（5,000円）の確実な確保を求める。
2. その上で、総合生活改善や格差是正の観点に立って、賃金をはじめとする労働諸条件の改善原資として、月例賃金総額2%相当分を求める。なお、具体的な要求については、各社の実情に応じて各単組で判断する。
3. 必達目標賃金に到達していない単組は、賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げるため、労働諸条件の改善原資のうち、1,000円を目安に純ベア要求を行う。
4. 要求方式は、平均賃上げ方式と個別賃上げ方式の併用とする。